

ふくしのおたより

2024



美和地区喫茶「なごみ」&三輪小コラボ



ボランティアから説明を受ける姿
力作の「秘密基地」作品

三輪小5年生では、地域を学ぶ学習から、地区のつどいの場である喫茶のボランティアから話を聞いて学習されました。

昔の商店街にはどんなところがあったか地図の再現を行った作品を、ボランティアの声かけでこの喫茶に展示することになりました。「懐かしいねえ！」と話が弾み、「丹波新聞を見た」と作品を撮影される姿もありました。

さらに4年生製作の自然素材を使った「秘密基地」作品も飾りたいという声があり、ギャラリーができてきました。

竹田地区

- ・会議メンバーを福祉委員に変更
- ・推進会議の学習会と各地区の取り組みのまとめ

前山地区

- ・防災をテーマに合同研修会
- ・マイナンバーカード取得情報発信と申込支援
- ・地区行事の交通手段について調査、試験

吉見地区

- ・支えあい推進会議についての学習会
- ・互助の基盤づくり

鴨庄地区

- ・いきいき百歳体操の現状
- ・集いの場への送迎について
- ・よろずおせっかい相談所の活性化
- ・憩いのサロン活性化

美和地区

- ・地区内アンケートの準備
- ・コア会議の準備

令和5年度
支えあい
推進会議の
取り組みを
ご紹介



★支えあい推進会議とは

人口減少と少子高齢化の社会のなか、地域で困りごとを話し合う仕組みづくりを行っています。生活支援体制整備事業のうちの一つ。市島地域には5地区にあり、会議の名前も様々です。地区で課題とすることはそれぞれであるため、協議内容や会議のメンバーも地区ごとに違いがあります。

社協福祉まつり

認知症の贈り物

3月9日のまつり当日は、雪がちらつく寒い中、お越しいただきありがとうございました。

午前の部の映画では涙涙(T-T)の上映で立ち見が出る状態となりました。

午後の部は表彰式典を行い、記念講演として、映画の監督である信友直子氏による



「認知症が私たち家族にくれた贈り物」をテーマにお話しいただきました。

本人が一番気づいていること、相手に近づきすぎると悲劇を作るが、少し引いたところからの視点で発見があったことなどを、映画のナレーションの広島弁による語り口調そのままに講演され、笑いが起きたり涙を拭われたりする参加者の姿がありました。

ふくし研修会

見守り講座から言葉のプレゼントをGET！ ～見守り・身守り・診守り・御守り～

2月20日と28日に市島・春日地域で“あそびの工房もくもくや” 田川雅規氏を講師に「見守り」をテーマに研修を行いました。

研修では、手遊びをきっかけに参加者の中でできた人、できなかった人の気持ちから、「安心」を届けることについて学びました。

また、関西弁の「なあ」の同意する言葉の意味を意識することも大切なことがわかりました。



両地域合わせて71名の方に参加していただき、ありがとうございました。



講師から伝授された「できなくても生きていける遊び」ですが、真剣に練習されています。

社協市島支所が→東部支所市島分室に変わります

令和6年4月1日より社協組織改編に伴い、支所を圏域化します。職員の業務効率化を図り効果的に、地域支援に関われるようにするためです。業務内容も今までと変更はありませんので、よろしくお願いいたします。

事務所の住所・電話番号も変更ありません。



